

9月は世界アルツハイマー月間です！！ ～この機会に認知症になった時の生活について考えてみませんか～

2025年には高齢者の5人に1人は認知症となる可能性もあると言われており、**認知症は『身近な病気』**です。
認知症は、脳の病気や障害など様々な原因により、生活するうえで支障が出てきて、それまでできていたことができなくなったりします。その結果、本人や家族が混乱してしまうことも少なくありません。
しかし、周囲が認知症を正しく理解し温かく見守ることで、本人や家族が穏やかに暮らしていくことは可能です。市は、認知症の人やその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

***** 認知症と共に生きる *****

認知症と診断された 少し先輩からのアドバイス



- ❁ これからどうしたらいいか、認知症とともに生きることを一緒に考えてみませんか。
- ❁ あなたの気持ちを話してみませんか。
- ❁ 同じ悩みの人と話すことで自分ひとりではないと思えます。
- ❁ 出かける場所、憩える場所を見つけませんか。笑って過ごせる仲間を作りましょう。
- ❁ これからに備えませんか。
- ❁ 一緒に考えてくれる人とできれば早めに準備しましょう。
- ❁ 人に頼っていいのです。
- ❁ ひとりで何とかしようと思わず人とのつながりを活かしましょう。



かかりつけ医に 相談を！



ものの忘れや探し物が増えた、身だしなみに気を使わなくなった、時間や日にちがわからなくなった、など気になる症状があるときには、早目に「かかりつけの医師(主治医)」に相談しましょう。

認知症に関するサポート体制

市では、認知症に関する各種サポート制度を実施していますので、ぜひご利用ください。

また、その他の悩み事についても下記の窓口へご相談ください。



認知症初期集中支援チーム (与一オレンジチーム)

認知症の専門知識をもった医療・福祉・介護の専門職によって構成されたチームです。
認知症の早期診断・早期対応に向けた介護の方法や対応をアドバイスし、医療機関や適切な介護サービスの利用などについて、ご本人やご家族のサポートをします。高齢者幸福課へご相談ください。

認知症地域支援推進員

市の高齢者幸福課で、認知症の人の状態に応じて必要なサービスが適切に供給されるように、医療機関や介護サービス、地域の支援機関の連携や認知症の方とご家族の相談を受けています。

もの忘れ相談

認知症地域支援推進員が、毎月1回、市本庁舎3階の相談室で相談を受け付けています。予約制のため、事前に高齢者幸福課までお電話ください。

【高齢者幸福課】TEL(23)8757

大学オレンジカフェ in 大田原

ものの忘れが気になる方、認知症のご本人とその家族や友人を対象に国際医療福祉大学と大田原市が協働してして開設しています。予約制のため、事前に高齢者幸福課までお電話ください。

【高齢者幸福課】

TEL(23)8757

***** 市内の相談窓口 *****

センター名	担当地区	所在地	電話番号
中央地域包括支援センター	大田原、紫塚、金田	浅香3丁目3578番地747 (大田原市福祉センター内)	(20)1001
西部地域包括支援センター	西原、親園、野崎、佐久山		(20)2710
東部地域包括支援センター	湯津上、黒羽、川西、両郷、須賀川	黒羽田町848番地 (市役所黒羽支所北隣)	(53)1880
高齢者幸福課 (基幹型支援センター)	市内全域	本町1丁目4番1号 (市役所本庁舎3階)	(23)8757